

注3

大学番号：289

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人関西医療学園

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学教学部

職名・氏名 ダイガクキョウガクブチョウヨシオカ マサキ
大学教学部長 吉岡 正樹

電話番号 072-453-8251

（夜間） 090-7102-8716

F A X 072-453-0276

e-mail kyoumu@kansai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

<臨床検査学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	19
7. その他全般的事項	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 関西医療学園

(2) 大学名

関西医療大学

(3) 大学の位置

〒590-0482

大阪府泉南郡熊取町若葉2丁目11番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タケダ ヒデタカ) 武田 秀孝 (昭和49年6月17日)	(タケダ ダイスケ) 武田 大輔 (平成26年4月1日)	武田秀孝が理事長を退任したため(平成26年4月1日)(26)
学長	(ヨシマス フミオ) 吉益 文夫 (平成18年4月1日)	(ヨシダ ソウヘイ) 吉田 宗平 (平成26年4月1日)	吉益文夫が学長を退任したため(平成26年4月1日)(26)
学部長	(ワカヤマ イクロウ) 若山 育郎 (平成25年4月1日)		
学科長等	(ワカヤマ イクロウ) 若山 育郎 (平成25年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 臨床検査学科 学士 (保健衛生学)	4年	50人	— 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50人 (-) [-]				1.21倍							
志願者数	276 (-) [-]	- (-) [-]	385 (-) [-]	- (-) [-]	481 (-) [-]	- (-) [-]	357 (-) [-]	- (-) [-]				
受験者数	276 (-) [-]	- (-) [-]	371 (-) [-]	- (-) [-]	454 (-) [-]	- (-) [-]	337 (-) [-]	- (-) [-]				
合格者数	103 (-) [-]	- (-) [-]	91 (-) [-]	- (-) [-]	107 (-) [-]	- (-) [-]	101 (-) [-]	- (-) [-]				
B 入学者数	69 (-) [-]	- (-) [-]	57 (-) [-]	- (-) [-]	59 (-) [-]	- (-) [-]	58 (-) [-]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.38		1.14		1.18		1.16					

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 69	[-] (-)	[-] (2) 59	[-] (-)	[-] (2) 61	[-] (-)	[-] (1) 59	[-] (-)	
2年次	/		[-] (-) 63	[-] (-)	[-] (1) 58	[-] (-)	[-] (4) 60	[-] (-)	
3年次			/		/		[-] (-) 58	[-] (-)	[-] (3) 54
4年次	/						/		/
計			[-] (-) 69	[-] (2)	[-] (2) 122	[-] (3)			

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	69 人	12 人	平成25年度	4 人	0 人	・学力不足(1人) ・就学意欲の低下(1人) ・他の教育機関への入学・転学(1人) ・その他(1人)	17.4% %
			平成26年度	4 人	0 人	・学力不足(1人) ・進路変更(2人) ・学費未納による除籍(1人)	
			平成27年度	4 人	0 人	・学力不足(3人) ・就学意欲の低下(1人)	
			平成28年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	57 人	2 人	平成26年度	0 人	0 人		3.5% %
			平成27年度	2 人	0 人	・学力不足(1人) ・就学意欲の低下(1人)	
			平成28年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	59 人	2 人	平成27年度	2 人	0 人	・就学意欲の低下(2人)	3.4% %
			平成28年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	58 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
合 計	243 人	16 人					6.6% %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保健医療学部 臨床検査学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	生命のしくみ	1前		2							兼1	
	物質と自然のしくみ	1前		2							兼1	
	生命の化学	1前		2		1					兼1	兼任講師の本務の都合により、担当者変更 (26)
	情報科学	1後		2							兼1	兼任講師の本務の都合により、担当者変更 (26)
	生命倫理	1後	2								兼1-2	兼任講師の退任による担当者変更。二人体制で実施 (26) 兼任講師の退任による担当者変更 (28)
	生涯スポーツ I	1前	1								兼1	
	生涯スポーツ II	1後		1							兼1	
	心と身体の健康	1前		2							兼1	
	法の基礎知識 (日本国憲法)	1前		2							兼1	
	社会文化人類学	1後		2							兼1	
	東洋医学と西洋医学	1前		2		1						
	環境と健康	1後		2							兼1	兼任講師の本務の都合により、担当者変更 (27)
	英語表現法 I	1前	1								兼1	
	英語表現法 II	1後	1								兼1	
	英語表現法 III	2前	1								兼1	
	英語表現法 IV	2後	1								兼1	
	医学英語	3前		2		1						
国語表現法	1前	2								兼1		
中国語 I	1後		1							兼1		
中国語 II	2前		1							兼1		
専門教育科目	人体の構造 I	1前	2								兼1	
	人体の構造 II	1後	2								兼1	
	人体の構造実習	1後	1								兼1	
	人体の機能 I	1前	2				1	1-0				平成26年4月1日付で准教授に昇任 (26)
	人体の機能 II	1後	2				1	1-0				平成26年4月1日付で准教授に昇任 (26)
	人体の機能実習	1後	1				1	1-0			兼1	平成26年4月1日付で准教授に昇任 (26)
	公衆衛生学 I	1前	2			1						
	公衆衛生学 II	1後	2									
	生物有機化学 I	1前		2							兼1	兼任講師の本務の都合により、担当者変更 (25)
	生物有機化学 II	1後		2							兼1	兼任講師の本務の都合により、担当者変更 (25)
	生化学 I	1後	2			1	+					平成26年4月1日付で教授に昇任 (26)
	生化学 II	2前	2			1	+					平成26年4月1日付で教授に昇任 (26)
	生化学実習	2後	1			1	+		1			平成26年4月1日付で教授に昇任 (26)
	病理学	1後		2		1						
	病理診断学	2前		2		2						
	分析化学 I	2前		2							兼1	兼任講師の本務の都合により、担当者変更 (26)
	分析化学 II	2後		2							兼1	兼任講師の本務の都合により、担当者変更 (26)
	分析化学実習	2後		1					1		兼1	兼任講師の本務の都合により、担当者変更 (26)
	薬理学	2後		2							兼1	
	医用工学概論	3後	2			1						
	医用工学実習	4前	1			1					兼1	
	臨床検査学入門	1前	2			2						
	臨床検査学総論	1後	2			1						
	血液検査学 I	2前	2							1		
	血液検査学 II	2後	2							1		
	血液検査学実習	3前	1							1	兼1	
	生理機能検査学 I (呼吸)	2前	2			1						
	生理機能検査学 II (循環)	2前	2						1			
	生理機能検査学 III (脳神経)	2後	2								兼3	
	生理機能検査学実習	3前	1			2		1			兼3	
	臨床化学検査学 I	2前	2			1						
臨床化学検査学 II	2後	2			1							
臨床化学検査学実習	3前	1			1					兼1		
一般検査学	2前	2			1				1-2		教育の更なる充実を図るため、担当者を追加 (28)	
一般検査学実習	2後	1			1				2-3		教育の更なる充実を図るため、担当者を追加 (28)	
放射性同位元素検査学	2前	2								兼1		
放射性同位元素検査学実習	2前	1								兼1		

専 門 教 育 科 目	輸血・移植検査学	2前	1					1		兼1	兼任講師の本務の都合により、担当者変更 (27)
	細胞診学	2前		2				1			
	細胞診学演習	2後		1				1			
	免疫検査学Ⅰ	2後	2							兼1	
	免疫検査学Ⅱ	3前	2							兼1	
	免疫検査学実習	3後	1					1		兼1	
	内科学Ⅰ	2前		2		1					
	内科学Ⅱ	2後		2		1					
	微生物検査学Ⅰ	2後	2					1			
	微生物検査学Ⅱ	3前	2					1			
	微生物検査学実習	3後	1					1		兼1	
	病理検査学	2後	2			2		1			
	病理検査学実習	3前	1			1		1		兼1	
	画像検査学	2後	2					1			
	遺伝子検査学	3前	2					1			
	遺伝子検査学実習	3後	2					1		兼1	
	検査総合管理学	3前	2			1					
	医動物検査学	3前	2							兼1	
	医動物検査学実習	3前	1							兼1	
	臨床病態学Ⅰ	3後	2			1					
	臨床病態学Ⅱ	4前	2			1					
	関係法規	4前	2			1					
	医療情報科学	4前	2							兼1	
	医療情報処理演習	4前	1							兼1	
	総合演習Ⅰ	4通		2		2	1	1 0-1	0-1		平成26年4月1日付で准教授に昇任(26) 教育の更なる充実を図るため、担当者を追加(28)
	総合演習Ⅱ	4通		2		3 4	1 0	0	1 2		平成26年4月1日付で教授に昇任(26) 教育の更なる充実を図るため、担当者を追加(28)
	総合演習Ⅲ	4通		2		1 2	0	0	3 4		教育の更なる充実を図るため、担当者を追加(28)
	臨地実習	3後		6		6 7 7-8	1 1	2 1	4		平成26年4月1日付で教授に昇任(26) 平成26年4月1日付で准教授に昇任(26) 教育の更なる充実を図るため、担当者を追加(28)
	医学概論	1前	2			1					
	食品栄養学	1後		2						兼1	
	チーム医療学	2前		2		1			1	兼2	
	食品製造学	2前		2						兼1	
食品衛生学	2後		2						兼1		
産業保健学	4後		2						兼1		
環境衛生学	4前		2						兼1		
労働衛生法規Ⅰ	4前		2						兼1		
労働衛生法規Ⅱ	4前		2						兼1		
救命救助法	4前		1		1				兼1		
卒業研究/エキスパート検査学	4通		4		6 7 7-8	1 1	2 1	4		平成26年4月1日付で教授に昇任(26) 平成26年4月1日付で准教授に昇任(26) 教育の更なる充実を図るため、担当者を追加(28)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
57	39	0	96	-	-	-		
				[]	[]	[]		

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

本ページ全項目該当なし

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ **履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。**
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	15,587.44 m ²	— m ²	— m ²	15,587.44 m ²				
	運動場用地	6,379.70 m ²	— m ²	— m ²	6,379.70 m ²				
	小計	21,967.14 m ²	— m ²	— m ²	21,967.14 m ²				
	その他	27,047.47 m ²	— m ²	— m ²	27,047.47 m ²				
	合計	49,014.61 m ²	— m ²	— m ²	49,014.61 m ²				
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計					
	18,993.73 m ² (19,750.83m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	18,993.73 m ² (19,750.83m ²)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	24室	3室	21室	1室 (補助職員 人)	1室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数						
	保健医療学部 臨床検査学科		11 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	保健医療学部 臨床検査学科	61,410 [12,576] 60,422 [12,649] (60,035 [12,473]) (57,901 [12,330])	219 [69] 232 [82] (219 [69]) (232 [82])	14 [14] 18 [18] (14 [14]) (18 [18])	1,583 1,589 (1,563) (1,539)	4,138 4,289 (4,138)	305 247 (305)	大学全体 予算および受入数の変動による (28)	
	計	61,410 [12,576] 60,422 [12,649] (60,035 [12,473]) (57,901 [12,330])	219 [69] 232 [82] (219 [69]) (232 [82])	14 [14] 18 [18] (14 [14]) (18 [18])	1,583 1,589 (1,563) (1,539)	4,138 4,289 (4,138)	305 247 (305)		
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	899.70 m ²		136 席		63,333 冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1426.03 m ²		—						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	309 千円	372 370 千円	図書購入費	6,131 千円	4,818 千円	4,620 5,725 千円	
		共同研究費等	7,302 千円	8,178 9,000 千円	設備購入費	68,146 千円	57,968 千円	57,173 6,775 千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,800千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	関西医療大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科	4	50		200	学士（鍼灸学）	1.11	平成15年度	大阪府泉南郡熊取町若葉2丁目11番1号	平成24年度より鍼灸学科から名称変更および入学定員変更（100名→50名）
理学療法学科	4	60		200	学士（理学療法学）	1.16	平成19年度	〃	平成27年度より入学定員変更（40名→60名）
ヘルスポモーション整復学科	4	40		160	学士（保健医療学）	1.03	平成20年度	〃	
臨床検査学科	4	50		200	学士（保健衛生学）	1.21	平成25年度	〃	
保健看護学部 保健看護学科	4	90		340	学士（看護学）	1.10	平成21年度	〃	平成27年度より3年次編入学廃止（8名→廃止）及び入学定員変更（80名→90名）
保健医療学研究科 保健医療学専攻	2	9		18	修士（保健医療学）	0.72	平成19年度	〃	平成23年度より鍼灸学専攻から保健医療学専攻に改組転換

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 臨床検査学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学部長)(学科長)	若山育郎(58)	平成25年4月	医学概論 一般検査学 内科学Ⅰ 内科学Ⅱ 一般検査学実習 医学英語 臨地実習 救命救助法(集中) 総合演習Ⅲ 卒業研究/エキスパート検査学						
専	教授	市村輝義(66)	平成25年4月	臨床検査学入門 臨床検査学総論 生理機能検査学Ⅰ(呼吸) 検査総合管理学 生理機能検査学実習 臨地実習 関係法規 総合演習Ⅰ 卒業研究/エキスパート検査学						
専	教授	榎田高士(66)	平成26年4月	生理機能検査学実習 医用工学概論 臨地実習 医用工学実習 総合演習Ⅰ 卒業研究/エキスパート検査学						
兼任	教授	榎田高士(66)	平成25年4月	公衆衛生学Ⅰ 臨床検査学入門 公衆衛生学Ⅱ						
専	教授	紀平為子(60)	平成25年4月	病理学 病理診断学 チーム医療学 病理検査学 臨床病態学Ⅰ 臨地実習 臨床病態学Ⅱ 総合演習Ⅱ 卒業研究/エキスパート検査学						
専	教授	戸田静男(65)	平成25年4月	東洋医学と西洋医学 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習 臨地実習 総合演習Ⅱ 卒業研究/エキスパート検査学						
専	教授	花井淳(76)	平成25年4月	病理診断学 病理検査学 病理検査学実習 臨地実習 総合演習Ⅱ 卒業研究/エキスパート検査学						
専	准教授	大西基代(58)	平成25年4月	生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実習 臨地実習 総合演習Ⅱ 卒業研究/エキスパート検査学	専	教授	大西基代(58)	平成25年4月	生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実習 臨地実習 総合演習Ⅱ 卒業研究/エキスパート検査学	平成26年4月1日付で教授に昇任(26)
					専	教授	近藤弘(61)	平成27年4月	血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習 検査総合管理学 医学英語 臨地実習	教育の更なる充実を図るため、専任教員を新規採用(27) 教育の更なる充実を図るため、担当者を追加(28)
専	講師	大島稔(43)	平成25年4月	人体の機能Ⅰ 人体の機能Ⅱ 人体の機能実習 臨地実習 総合演習Ⅰ 卒業研究/エキスパート検査学	専	准教授	大島稔(43)	平成25年4月	人体の機能Ⅰ 人体の機能Ⅱ 人体の機能実習 臨地実習 総合演習Ⅰ 卒業研究/エキスパート検査学	平成26年4月1日付で准教授に昇任(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	後藤 きよみ (51)	平成26年4月	生理機能検査学Ⅱ(循環) 画像検査学 生理機能検査学実習 臨地実習 総合演習Ⅰ 卒業研究/エキスパート検査学						
専	助教	荒川 裕也 (28)	平成26年4月	遺伝子検査学 免疫検査学実習 遺伝子検査学実習 臨地実習 総合演習Ⅲ 卒業研究/エキスパート検査学						
専	助教	大瀧 博文 (32)	平成26年4月	一般検査学実習 微生物検査学Ⅰ 微生物検査学Ⅱ 微生物検査学実習 臨地実習 総合演習Ⅲ 卒業研究/エキスパート検査学						
専	助教	鍵 弥 朋子 (38)	平成25年4月	一般検査学 一般検査学実習 細胞診学 チーム医療学 細胞診学演習 病理検査学 病理検査学実習 臨地実習 総合演習Ⅱ 卒業研究/エキスパート検査学						
					専	助教	上北 宏美 (26)	平成28年4月	一般検査学 一般検査学実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ	教育の更なる充実を図るため、専任教員を新規採用(28)
専	助教	竹田 知広 (34)	平成25年4月	血液検査学Ⅰ 分析化学実習 生化学実習 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習 臨地実習 総合演習Ⅲ 卒業研究/エキスパート検査学						
兼任	教授	平尾 幸久 (75)	平成25年4月	生命のしくみ	兼任	講師	松本 弘 (67)	平成25年4月	生命のしくみ	兼任教授が健康上の理由により退任したため、担当者変更(25)
兼任	教授	横田 轟 (75)	平成25年4月	物質と自然のしくみ 情報科学 医療情報科学 医療情報処理演習	兼任	教授	中村 正信 (67)	平成25年4月	物質と自然のしくみ 情報科学 医療情報科学 医療情報処理演習	兼任教授が健康上の理由により退任したため、担当者変更(25)
					兼任	講師	竹村 匡正 (40)	平成25年9月	情報科学 医療情報科学	兼任講師の本務の都合により、担当者変更(25)
兼任	教授	樫葉 均 (53)	平成25年4月	生命の化学 人体の機能実習	専	教授	市村 輝義 (66)	平成25年4月	臨床検査学入門 臨床検査学総論 生理機能検査学Ⅰ(呼吸) 検査総合管理学 生理機能検査学実習 臨地実習 関係法規 総合演習Ⅰ 卒業研究/エキスパート検査学 生命の化学	兼任講師の本務の都合により、担当者変更(26)
兼任	教授	郭 哲次 (63)	平成25年4月	心と身体の健康 生理機能検査学Ⅲ(脳神経) 生理機能検査学実習						
兼任	教授	吉田 宗平 (65)	平成25年4月	環境と健康	兼任	講師	松本 健治 (68)	平成27年4月	環境と健康	兼任講師の本務の都合により、担当者変更(27)
兼任	教授	吉田 仁志 (52)	平成25年4月	英語表現法Ⅰ 英語表現法Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	東 家 一 雄 (52)	平成25年4月	人体の構造Ⅰ 人体の構造Ⅱ 人体の構造実習						
兼任	教授	吉 益 文 夫 (76)	平成25年4月	生命倫理	兼任	教授	吉 田 宗 平 (65)	平成25年4月	環境と健康 生命倫理	吉益教授の退任による担当者変更。二人体制で実施(26)
					兼任	教授	横 田 栄 夫 (74)	平成26年4月	生命倫理	吉益教授の退任による担当者変更。二人体制で実施(26)
					兼任	講師	矢 本 希 夫 (66)	平成28年4月	生命倫理	横田教授の退任による担当者変更。(28)
兼任	教授	鈴 木 俊 明 (52)	平成25年4月	チーム医療学 生理機能検査学Ⅲ (脳神経) 生理機能検査学実習						
兼任	教授	岩 井 恵 子 (56)	平成25年4月	チーム医療学						
兼任	講師	相 澤 慎 太 (37)	平成25年4月	生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ						
兼任	講師	木 村 研 一 (44)	平成25年4月	生理機能検査学Ⅲ (脳神経) 生理機能検査学実習	兼任	准教授	木 村 研 一 (44)	平成25年4月	生理機能検査学Ⅲ (脳神経) 生理機能検査学実習	平成26年4月1日付で准教授に昇任(26)
兼任	講師	高 岸 美 和 (41)	平成25年4月	救命救助法(集中)	兼任	准教授	高 岸 美 和 (41)	平成25年4月	救命救助法(集中)	平成26年4月1日付で准教授に昇任(26)
兼任	講師	深 澤 洋 滋 (47)	平成25年4月	薬理学	兼任	准教授	深 澤 洋 滋 (47)	平成25年4月	薬理学	平成26年4月1日付で准教授に昇任(26)
兼任	助教	北 川 洋 志 (31)	平成25年4月	血液検査学実習						
兼任	助教	山 崎 寿 也 (49)	平成25年4月	医用工学実習	兼任	講師	山 崎 寿 也 (49)	平成25年4月	医用工学実習	平成26年4月1日付で講師に昇任(26)
兼任	講師	池 田 裕 明 (61)	平成25年4月	法の基礎知識 (日本国憲法)						
兼任	講師	南 山 かおり (39)	平成25年4月	国語表現法						
兼任	講師	岩 橋 秀 夫 (61)	平成25年4月	生物有機化学Ⅰ 生物有機化学Ⅱ	兼任	講師	福 島 和 明 (51)	平成25年4月	生物有機化学Ⅰ 生物有機化学Ⅱ	兼任講師の本務の都合により、担当者変更(25)
					兼任	講師	多 中 良 栄 (39)	平成28年4月	生物有機化学Ⅰ 生物有機化学Ⅱ	兼任講師の本務の都合により、担当者変更(28)
兼任	講師	岩 谷 洋 史 (43)	平成25年9月	社会文化人類学						
兼任	講師	黒 木 知 美 (43)	平成25年9月	食品栄養学 食品製造学 食品衛生学						
兼任	講師	橋 本 知 佳 (59)	平成25年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	濱 崎 佳 子 (55)	平成25年4月	英語表現法Ⅲ 英語表現法Ⅳ						
兼任	講師	福 島 和 明 (52)	平成26年4月	分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 分析化学実習	兼任	講師	岩 橋 秀 夫 (61)	平成26年4月	分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 分析化学実習	兼任講師の本務の都合により、担当者変更(26)
兼任	講師	辰 巳 奇 男 (64)	平成26年4月	放射性同位元素検査学 (集中) 放射性同位元素検査学実習 (集中)	兼任	講師	田 中 浩 基 (39)	平成28年4月	放射性同位元素検査学実習(集中)	兼任講師の本務の都合により、放射性同位元素検査学実習(集中)のみ担当者変更(28)
兼任	講師	田 中 成 憲 (62)	平成26年4月	輸血・移植検査学 (集中)	専	助教	竹 田 知 広 (34)	平成25年4月	輸血・移植検査学	兼任講師の本務の都合により、担当者変更(27)
兼任	講師	栗 林 恒 一 (59)	平成26年9月	免疫検査学Ⅰ 免疫検査学Ⅱ						
兼任	講師	大 西 義 博 (67)	平成27年4月	医動物検査学(集中) 医動物検査学実習 (集中)						
兼任	講師	木 寺 英 明 (61)	平成27年4月	病理検査学実習 遺伝子検査学実習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	瀧本 順三郎 (62)	平成27年4月	臨床化学検査学実習						
兼任	講師	喜多 いずみ (43)	平成27年9月	微生物検査学実習						
兼任	講師	植山 実 (68)	平成27年9月	免疫検査学実習	専	助教	竹田 知広 (34)	平成27年4月	免疫検査学実習	兼任講師の本務の都合により、担当者変更。二人体制で実施(27)
					兼任	講師	木寺 英明 (62)	平成27年4月	病理検査学実習 遺伝子検査学実習 免疫検査学実習	兼任講師の本務の都合により、担当者変更。二人体制で実施(27)
兼任	講師	門脇 英子 (42)	平成28年4月	環境衛生学						
兼任	講師	谷口 恒夫 (74)	平成28年4月	労働衛生法規Ⅰ						
兼任	講師	新川 静男 (67)	平成28年4月	労働衛生法規Ⅱ	兼任	講師	谷口 恒夫 (74)	平成28年4月	労働衛生法規Ⅰ 労働衛生法規Ⅱ	兼任講師の本務の都合により、担当者変更(28)
兼任	講師	森岡 郁晴 (57)	平成28年9月	産業保健学						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
6	1	2	4	13	8	1	1	5	15	8	1	1	5	15
(5)	(1)	(1)	(2)	(9)						[2]	[0]	[Δ1]	[1]	[2]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	4 名	4 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

該当なし

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1										
2										
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
〇〇 人		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1			必修							
			選択							
			必修							
2			自由							
			必修							
			必修							
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
〇〇 人		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
〇〇 人		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ **就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員**について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		留意事項	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	保健医療学部臨床検査学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	指定校制推薦入試の推薦基準の引き上げをはじめ、合格者の絞り込みを行った結果、入学定員超過率は前年の1.38倍から平成26年度は1.14倍に改善した。受験生の出願動向や外部環境を十分に考慮し、引き続き厳格な定員管理を行うよう留意する。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	保健医療学部臨床検査学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	1. 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員のうち2名は、完成年度（平成29年3月）に任期満了のため、退職する予定である。 2. このため、平成29年4月には補充教員として定年規程に定める退職年齢を超えない専任教員を2名採用する予定であるが、このたびの改善意見を受け、1名（61歳の教授）の採用を平成27年4月1日に繰り上げた。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	保健医療学部臨床検査学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	平成26年度に提出した改善計画に基づき、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合を引き下げするため、 ①平成27年4月1日付で1名（61歳の教授）を採用した。 ②さらに、改善計画に追加し、平成28年4月1日付で1名（26歳の助教）を採用した。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 臨床検査学科>

(1) 設置計画変更事項等・・・該当なし

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>大学設置基準第25条の3および大学院設置基準第14条の3の規程に基づき、関西医療大学における教授内容・教授方法の改善、向上を図るため、関西医療大学FD（ファカルティ・ディベロップメント）推進委員会を置く。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>審議事項を基に随時開催予定</p> <p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年 4月11日 出席者 8名（委員14名中） <p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年 4月27日 出席者 9名（委員10名中） ・平成27年 7月2日 出席者10名（委員10名中） ・平成27年10月15日 出席者 9名（委員10名中） ・平成27年12月24日 出席者 6名（委員10名中） ・平成28年 1月28日 出席者10名（委員11名中） <p>平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年 4月 8日 出席者 8名（委員10名中） ・平成26年 5月29日 出席者 9名（委員10名中） ・平成26年 7月17日 出席者 9名（委員10名中） ・平成26年 9月19日 出席者 7名（委員10名中） ・平成26年11月21日 出席者 5名（委員10名中） ・平成27年 1月16日 出席者 6名（委員10名中） <p>平成25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年 4月30日 出席者 7名（委員 7名中） ・平成25年 5月24日 出席者 6名（委員 7名中） ・平成25年 6月21日 出席者 4名（委員 7名中） ・平成25年 7月30日 出席者 6名（委員 7名中） ・平成25年 9月 3日 出席者 4名（委員 7名中） ・平成25年10月15日 出席者 4名（委員 7名中） ・平成25年11月29日 出席者 5名（委員 7名中） ・平成25年12月20日 出席者 7名（委員 7名中） ・平成26年 1月28日 出席者 7名（委員 7名中） ・平成26年 2月25日 出席者 6名（委員 7名中） ・平成26年 3月11日 出席者 7名（委員 7名中） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDの企画および実施に関すること ・FDについての情報収集に関すること ・FDに関する研修会等を企画・実施すること ・その他FDに関すること

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 新任教員のための研修会（平成28年4月2日実施）
- ・ 公開授業（実施予定）
- ・ 授業評価アンケート（実施予定）

b 実施方法

- ・ 新任教員のための研修会

FD活動の一環として、新年度ご就任される先生および、新たに講義や実習を担当される先生方を対象に教員初任者研修会を実施。

- ・ 公開授業

授業の運営に関して教員間でピア・レビューを行い、授業改善を図る目的で公開授業を実施。公開授業の担当者については、学生の授業評価アンケート結果に基づき、FD推進委員会が依頼。公開授業の担当教員の授業時に、他の教員が授業を参観し、アンケートに回答する。

実施状況：平成28年度 実施予定

平成27年度 実施日：平成27年5月11日～12月3日に計10回実施

平成26年度 実施日：平成26年6月11日～平成27年1月19日に計10回実施

平成25年度 実施日：平成25年7月1日～平成26年1月23日に計10回実施

- ・ 授業評価アンケート

学部学生および大学院生に対して、科目担当教員すべて（非常勤教員含む）について前期、後期に、授業評価アンケートを実施。

科目担当教員が、携帯電話を使用し授業評価アンケートの実施を指示する。

非常勤講師担当科目については、専任教員が学生にアンケートを依頼することで実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 新任教員のための研修会

毎年、4月初旬に実施

実施状況：平成28年度 実施日：平成28年4月2日 参加者：10名

平成27年度 実施日：平成27年4月2日 参加者：10名

平成26年度 実施日：平成26年4月8日 参加者：8名

平成25年度 実施日：平成25年4月8日 参加者：11名

1. 建学の理念および本学の沿革について
2. 本学のFD推進活動について
3. 本学の授業および試験等について
4. 本学の学生生活について
5. 個人研究費及び公的研究費の執行について
6. 勤怠関係について

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

初任者研修の内容を踏まえて、各教員が授業に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成28年度：前・後期の中間時点もしくは期末時点で各1回ずつ実施予定

平成27年度：（前期実施期間）平成27年5月25日～6月4日 （後期実施期間）平成27年11月4日～21日

平成26年度：（前期実施期間）平成26年6月9日～27日 （後期実施期間）平成27年10月13日～11月14日

平成25年度：（前期実施期間）①平成25年5月29日～6月15日 ②平成25年7月8日～20日
（後期実施期間）平成26年1月14日～24日

b 教員や学生への公開状況，方法等

実施結果を掲示にて公開

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

関西医療大学では、平成15年4月の関西鍼灸大学開学時から関係法令の定めるところにより、本学の教育目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を公表することを定めた。

副学長を委員長として関西医療大学自己点検・評価委員会を組織し、その下に教育・研究活動点検・評価部会、学生生活点検・評価部会、管理運営点検・評価部会等を置き、教育研究活動、学生生活、管理運営の資質向上と改善に取り組む体制としている。

各部会は、それぞれの担当事項について資料作成・データの収集ならびに分析を行って自己点検・評価の原案を作成し、委員会に報告する。委員会はその報告を受けて協議し、自己点検・評価結果を大学運営会議（学長）および学園運営会議（理事長）へ報告する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年3月

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年10月 1日)